

住民×議会 みんなで未来を語る会 報告書

開催日時 令和7年10月24日（金）19時30分～

開催場所 リブラ若狭 講堂

テーマ	暮らしやすい町ってどんな町
出席議員	檜鼻貴博議員 久保幸子議員 増井文雄議員 辻岡正和議員
参加者数	10人
課題	<ul style="list-style-type: none">・人口減少や人口流出が加速し、地元に帰ってくる人が少ない。・少子高齢化が進み、老人の一人暮らしが増加している。・小中学校の統廃合や児童通学時の安全確保不足している。・高齢者に対する交通面の不便性がある。・獣害問題が深刻化している。・伝統を守る為の習慣と負担のバランスが悪く地域において行事や役職の負担が多い。・空き家が増加している。・若狭町の財源の使い方が適正か疑問を感じる。・地域住民と若狭町議会議員の間に溝がある為にお互いに理解が必要だと感じる。・未だに二重行政に違和感がある。・若者が働く場所が少ない。

意見・方向性等	<ul style="list-style-type: none">・大人が住みにくいと思っていることが若者に伝わり悪影響を及ぼしている為大人の意識を変える必要がある。・人口減少や人口流出に歯止めをかける政策が必要。・高齢者の移動手段を改善が必要。・児童通学の安全性を強化してほしい。（全校通学バス） <p>解決策・政策提言</p> <ul style="list-style-type: none">・伝統文化を守りながら、個人の負担を軽減した地域つくりを推進する。・若狭町で生きる見本は大人達（親世代）であり、その世代が楽しく生活する姿を見せることが大切。・時間をかけて郷土愛を溢れるひとづくりが必要。
---------	---